



総務常任委員会議案審査報告書

1. 第 63 号議案 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
1. 第 90 号議案 原町田一丁目駐車場及び原町田一丁目第2駐車場の指定管理者の指定について
1. 第 91 号議案 町田市小野路宿里山交流館の指定管理者の指定について
1. 第 58 号議案 令和元年度（2019年度）町田市一般会計補正予算（第2号）

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成30年度（2018年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳出）

総務費

- （1）SNSはツイッター・Facebookでも情報発信しているとのことだがまだまだ認知度が低い。SNSの更なる利活用に努められたい。
- （2）GREEN×PLAZAにおいては、費用対効果も鑑みながら市民の声を反映して進められたい。
- （3）広聴費の市民相談事業について、行政コスト計算書の特徴的事項に補助費等の金額内訳を記載されたい。
- （4）イベシスの利用1件あたりコストにおいては、利用件数を増やし、計画的な減額に努め、また締め切り日時については、各所管課と協議されたい。
- （5）ストレスチェックにおける高ストレス者の更なるケアに努められたい。

- (6) 「働き続けたいと思える良い組織風土の醸成」においては、早期実現に努められたい。
- (7) 「ふるさと納税」については市外に対しても更なる周知を図られたい。
- (8) コンビニとカフェとの更なる連携を図り、庁舎内の賑わいの創出により努められたい。
- (9) 市庁舎スペースの有効活用にあたっては、市民団体の利用を広げられたい。
- (10) 市庁舎南口側の総合案内の環境改善に取り組まれたい。
- (11) 屋上花畑においては、子どもたちに収穫体験をさせる等、更なる活用を図られたい。
- (12) 工事請負契約において市内事業者が受注しやすくなるよう、更なる配慮に努められたい。
- (13) 市民税等賦課管理費について、一日も早いソフトウェアロボットの活用を進められたい。
- (14) 国民健康保険税の滞納整理にあたり、「資格証」の相談については、保険年金課と早期に協議を行われたい。
- (15) 市税や国民健康保険税の滞納整理にあたっては、生活困窮解決のため生活援護課との連携を強められたい。
- (16) 催告書の送付に使用してきた「赤色の封筒」の再度の使用は止められたい。
- (17) 収納事業について、催告書に使用する場合、同一色の封筒で行っていると回収状況が悪くなる。よって色を変えて催告されたい。
- (18) オープンデータ事業において町田市は二次利用を前提に91のオープンデータコンテンツを公開しているが市が保有している資料・データに比してその量は多いとは思えない。今後、活用可能な有用資料の更なるオープンデータ化に努められたい。

労働費

- (19) 就業関連情報においては、ハローワーク町田等、各支援機関との連携をより密にし、市内雇用情報の把握に更に努め、市内有効求人倍率を向上するよう計られたい。

農林費

- (20) 農業研修修了者が市内で農業に携わることができるよう、取り組みを更に進められたい。
- (21) 農業においては、市内の収穫量に関しても把握するよう努められたい。
- (22) ふるさと農具館事業について、2014年度以降利用状況は右肩下がりである。農業振興課として、集客できるアイデアを提供されたい。
- (23) 市民農園についてはより多くの市民が利用できるよう努められたい。
- (24) 山林バンク事業のマッチングに力を入れ、更なる山林の活用を図られたい。

商工費

- (25) 商店街活性化のために、魅力ある個店形成を支援すること。
- (26) 町田ターミナルプラザにおいては飲食を含めた更なる集客と滞在時間の増加に努められたい。
- (27) プラザ町田事業について、収支状況や稼働率を鑑み、抜本的な対策を講じられたい。

(28) 観光コンベンション協会補助金について、毎年度42,000千円の補助金を提供。総務部での毎年度毎チェックは不定期と聞く。

前回2015年度以降、チェックしていないのであれば今年度は行われたい。

(29) 外国人観光客の増加に向けて、更なる取り組みを進められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

総務費

(30) 「公共施設再編計画」については、議会で採択された請願の主旨に添って見直すこと。

令和元年（2019年）9月18日

総務常任委員長 いわせ 和 子

議長 若 林 章 喜 様

健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 66 号議案 町田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 67 号議案 町田市授産センター条例の一部を改正する条例
1. 第 93 号議案 損害賠償の額の決定について
1. 第 58 号議案 令和元年度（2019年度）町田市一般会計補正予算（第2号）
1. 第 59 号議案 令和元年度（2019年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 61 号議案 令和元年度（2019年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 62 号議案 令和元年度（2019年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成30年度（2018年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳入）

- （1）本来、東京都の事務となる保健所運営を町田市が保健所政令市として担っていることに鑑み、人口減少社会に備えるにあたって保健所運営に関わる費用負担を東京都に求める。

（歳出）

民生費

- （2）市民後見人の増強のみならず、主体的に推進する役割や監督機能の強化も併せて取り

組まれたい。

- (3) 市民後見人登録者が、後見人としての仕事を受任できるよう、フォローアップ研修を実施されたい。また成年後見人制度の利用者増が見込まれるため、財源確保を図られたい。
- (4) 障がい者の外出支援サービスの拡充を図られたい。
- (5) 福祉輸送サービスの共同配車センターは支援を必要とされる方にとって重要なサービスであり、潜在需要はあるので更に増強を検討されたい。
- (6) 福祉サービス事業所の利用者への聞き取り調査、それに対するフィードバックを取り入れられたい。
- (7) 自立支援協議会を作り、障がい者の様々な課題に対し機動的な役割を担われたい。
- (8) 障がい者福祉施設借上費補助金については、事業所の運営や利用者サービスに影響が生じないように、関係者等の意見を丁寧に聞いた上で補助のあり方を検討されたい。
- (9) 特別養護老人ホームの待機者数に圏域別の差があるので、圏域別の待機者数や年齢別人口などを見越して先手を打った増設を進め、入所待機者を減らすとともに、「第7期介護保険事業計画」未達成分の地域密着型サービスの整備を急がれたい。
- (10) あんしんキーホルダー保有者の問い合わせ時の情報を整備し、事例紹介など通して普及啓発につなげられたい。
- (11) 高齢者見守り支援ネットワークの継続のため、メンバーの世代交代を促す工夫、多様な地域資源との連携を推進されたい。
- (12) 生活困窮家庭の小中学生の学習支援事業については、場所や人材の課題はあるが、需要はあり大切な取り組みなので拡大を検討されたい。また、対象者も広げ、通いやすい環境づくりも検討されたい。
- (13) 生活保護受給者が就労や年金受給で収入が発生した場合、不正受給にならないよう、収入を申告することなど丁寧な事前説明をされたい。
- (14) 今後、高齢者の受給者が増加すると予想される。医師会などの協力を得て、ジュネリック医薬品の奨励と、就労指導の推進を図られたい。

衛生費

- (15) 公共施設再編において医療機能集約を図るためのメディカルセンター化の検討を始められたい。
- (16) ゲートキーパー養成に関する事業を更に拡充し、その上でアフターフォローやレベルアップ、後方支援の追加を図られたい。
- (17) 乳がん検診を受けられる医療機関を近隣市も含めて拡大されたい。
- (18) 3年経過した出産・子育てしっかりサポート事業や、こんにちは赤ちゃん訪問について、件数など定量的管理のみならず、振り返り会議を生かした質の向上や以降の継続フォローの更なる強化に努められたい。
- (19) 東京都から譲り受けた保健所は築50年、老朽化している。建物、施設の効率化、安全対策を考慮し、早期に建て替えを検討されたい。

2 特別会計

国民健康保険事業会計

- (20) 国民健康保険税を滞納し、資格証明書になった市民でも、緊急に病院にかかることが必要な場合は、すみやかに保険年金課で短期被保険者証を発行されたい。
- (21) 短期滞在外国人に対し、被保険者証発行には不正使用の無いよう努力されたい。
- (22) 日本国籍を有し、長期に外国滞在している者が高額医療を受ける目的で一時帰国し、被保険者証を求めるなど、不正使用されないよう努力されたい。

介護保険事業会計

- (23) 要介護度改善ケア奨励事業を拡大し、更に高い目標を設定して推進されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 特別会計

国民健康保険事業会計

- (24) 国民健康保険事業会計への一般会計からの繰入金については、徴収一元化等、収納率向上の努力もあり計画を上回る繰入金減となっているが、一般会計からの法定外繰入はいまだ存在する。更に努力されたい。

介護保険事業会計

- (25) 徴収の時効が2年であることから早々に不能欠損額となっていることに鑑み徴収の工夫をされ不能欠損が生じないように努力されたい。

1. 認定第 2 号 平成30年度（2018年度）町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

- (1) 入退院支援センターに介護支援専門員を配置し、退院後の療養や生活支援にすぐつなげられる体制をとられたい。
- (2) 市民公開講座について市民病院や医療従事者等を知ってもらう機会としてより中身の充実を図られたい。
- (3) 紹介状を持たない方から徴収する非紹介患者初診加算料(選定療養費)を発生抑制する

ためにも、市外を含めた連携医登録医療機関を増やすとともに、市民への周知方法を工夫されたい。

- (4) 救急診療体制の充実を図り、救急隊からの受け入れ要請に対する応需率の引き上げに努力をされたい。
- (5) 医業費用については、委託費はじめ経費が増加している中、材料費改善に依存している傾向がある。材料費の継続的改善とともに、サービスを向上しつつ、更なる経費削減に努められたい。
- (6) 救急医療や周産期医療などの不採算部門を担う公立病院として、法的に繰り入れが認められた負担金交付金の範囲で、安定的な病院運営に努められたい。
- (7) 一般会計からの繰入金については少しでも減額できるよう努力されたい。

令和元年（2019年）9月18日

健康福祉常任委員長 石 川 好 忠

議長 若 林 章 喜 様

文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 64 号議案 町田市印鑑条例の一部を改正する条例
1. 第 65 号議案 町田市体育施設条例の一部を改正する条例
1. 第 68 号議案 町田市学童保育クラブ設置条例の一部を改正する条例
1. 第 69 号議案 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 70 号議案 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 71 号議案 町田市立保育園設置条例の一部を改正する条例
1. 第 72 号議案 町田市立保育園における特別教育の実施に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 73 号議案 町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 89 号議案 三輪子どもクラブの指定管理者の指定について
1. 第 58 号議案 令和元年度（2019年度）町田市一般会計補正予算（第2号）

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成30年度（2018年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳入）

- （1）小中学校における不用品売払の管理を適正に行うように努められたい。

（歳出）

- （2）適正な予算執行のために、不用額や流用の原因が発生した場合は、早期に補正を組む

ように努められたい。

総務費

- (3) 町内会・自治会加入の促進に努められたい。
- (4) 子育て世帯の町内会・自治会加入促進について、まちだ子育てサイトの利用なども検討されたい。
- (5) 集会施設の維持管理について、説明会等、積極的に周知するよう努められたい。
- (6) コミュニティセンターの夜間利用向上に努められたい。
- (7) DVについての相談窓口（被害者、加害者）の更なる周知や、児童虐待との関連について関係課と連携を強化されたい。
- (8) 幼児用及び小中学生の自転車乗車時のヘルメットについて、購入費用の補助や無償配布など実施できるか検討されたい。
- (9) これまでの交通事故の発生箇所を地図に点で落とし込み、発生件数が多い場所が一目で分かるマップの作製等ができないか、警察と協議を進められたい。
- (10) 2018 年度の特種詐欺発生件数は、多摩 26 市の中で町田市が一番多い。特種詐欺被害が減少するように、都への働きかけのみならず、市として対策を強化されたい。
- (11) 幼児同乗自転車に乗車する子どもへのヘルメット着用について、市内の保育所や幼稚園に通う保護者に対する啓発活動に、より努められたい。
- (12) スタントマンを招いた中学校自転車教室は、年間 7 校の実施となっている。残りの学校については、実際のドライブレコーダーの映像などを利用した自転車教室などを実施するよう、検討されたい。
- (13) 利便性向上ため、証明書のコンビニ交付推進に努められたい。

民生費

- (14) 保育施設等へ通園している乳幼児の情報については、保健所の子育て家庭への訪問を効率良く行うために、よりスムーズかつタイムリーな保健所との情報共有に努められたい。
- (15) 赤ちゃんテントの利用数が少ないことから、より積極的な周知（特に町内会・自治会に対して）に努め、貸出し対象の拡大についても検討されたい。
- (16) 一時保育の利用率が著しく低い園においては、保護者に対して利用条件の案内が適切であるか調査し、必要に応じて改善を求められたい。
- (17) 保育施設への実地指導において、多くの園が共通して指導されている項目については、その原因を調査し、次年度は指導件数が減るよう努められたい。
- (18) 保育所等の整備計画については、大規模な住宅の開発計画などの情報を少しでも早い段階で得る努力をし、早急に整備計画へ反映させ、待機児童の減少に努められたい。
- (19) 保育園等の食物アレルギー対応に関しては、充実されたい。
- (20) 災害共済給付の件数が極端に少ない園では、保護者に対して災害共済給付の利用を周知できていない可能性がある。災害共済給付を適切に利用するよう、園と保護者への周知徹底に努められたい。

- (21) 送迎保育ステーション事業について、待機児童が多い南地域での活用を検討されたい。
- (22) ファミリーサポートセンター事業においては、2018年度の援助会員へのアンケート調査の結果をもとに、依頼会員の自宅等、援助会員宅以外での預かりサービスについて、より積極的に行う事を検討されたい。
- (23) ファミリーサポートセンター事業での援助会員宅の防災対策については、引き続き援助会員への周知や定期的な実態調査に努められたい。
- (24) 公立保育園において、事故件数が多い園や場所などについては、事故の原因を確認し必要に応じて改善に努められたい。
- (25) 潜在家庭への支援を充実させ、虐待防止等、子育て支援に努められたい。
- (26) 地域子育て相談センター事業について、潜在家庭への家庭訪問が2019年度から本格的に実施される。業務量の増加が予測されるため、人員の増加を検討されたい。
- (27) 「おうちでごはん〜子ども食堂を自宅に!〜」の広報活動に努められたい。
- (28) 子どもショートステイの家マルガリータの送迎サービスの利用数については、市でも把握できるよう努められたい。
- (29) まこちゃん教室の拡充をはかられたい。
- (30) 子どもセンター「ただON」で実施されている、スクールソーシャルワーカーや関係する機関との連携を、市内で広げていかれたい。
- (31) 子どもセンターまあちについて、施設利用者数が年々増加している。施設のキャパシティに応じた適正な利用者数を算出するとともに、必要に応じた人員配置をされたい。
- (32) 子どもクラブ建設においては、地域の要望などに耳を傾け、市所有の未利用地の活用などをし、早期に建設を進められたい。
- (33) 学童保育クラブと「まちとも」や「新たな『まちとも』」が相互に協力しあい、子ども達が充実した放課後をすごせるよう努められたい。
- (34) 学童保育の指導員の確保と質の向上のため、待遇改善の維持・拡充をはかられたい。
- (35) 医療的ケア児支援の通所検討会では、4月入園のみでなく、随時入園も検討されたい。
- (36) 発達検査結果については、早期発見・早期療育につなげるため速やかに診断されるよう、関係機関との連携を更に強化されたい。
- (37) 子ども発達センターについて、未就学児童が減少しているにも関わらず、センター利用者数(未就学児)が増加している。潜在ニーズが高いことが予想されることから、より関係機関との連携を深め、支援を強化されたい。
- (38) 子ども発達センターが担っている、公立保育園の障がい児保育の役割を維持されたい。
- (39) 子ども発達センターと教育センターの連携に努められたい。

消防費

- (40) 消防団運営事業について、運営費が毎年予算から大幅に乖離し、流用額が大きい。予算計画の精度を上げられたい。
- (41) 消防団員の負担軽減のためにも、団員増員に努められたい。
- (42) 消防団施設の光熱水費については、施設間の金額の差が大きいため、しっかりと精査されたい。

- (43) 防災行政無線について、境川付近の住人から相模原市のは聞こえるが、町田市のは聞こえないという声が多い。既存の無線局についても、どの程度聞こえるのか現地で確認されたい。
- (44) 防災備蓄品の内、乾燥米は白飯、梅がゆ、五目飯となっている。食物アレルギーの避難者も食べられるような品目（例えば赤飯、わかめご飯）を拡大して購入されたい。

教育費

- (45) 各小中学校の施設・設備の安全点検について現状は各学校に一任されているが、各校の実情に合っているかどうか、市で点検項目をチェックするよう検討されたい。
- (46) 小中学校のプールについて、隣接校の利用や公共施設プール、民間施設プールの利用の実現可能性について引き続き研究を進められたい。
- (47) 就学援助の申込みについて、更なる周知に努められたい。
- (48) 部活動指導員拡充をし、部活動の充実を進められたい。
- (49) 日本語を母国語としない子どもたちの日本語支援の充実に、引き続き努められたい。
- (50) 市立博物館の今後について、地元住民の意見を反映されたい。
- (51) 三輪の森ビジターセンター郷土資料展示室において、三輪の自然についても紹介されたい。
- (52) 自然休暇村について、市外からの転入者等にあまり認知されていない。市の関係機関と連携し、よりPR活動を強化されたい。
- (53) 生涯学習センターの保育室については、利用率の向上に努められたい。無料開放についても、実現可能性について研究されたい。
- (54) 図書館事業について、来館者数が成果指標に追加された。さるびあ図書館は前年度から貸出点数は減少しているものの、来館者数は増加している。図書館の役割は時代とともに変化しており、今後の図書館のあり方を検討する際にも、コミュニティや地域の拠点としての評価も検討されたい。
- (55) 「町田市立図書館のあり方見直し方針」について、できる限り地域の方の声を聞くよう努力されたい。
- (56) 図書館、特に地域館においては特色ある図書館運営に努められたい。
- (57) 子どもセンターを巡回するなど、移動図書館を活用し、子どもたちが本に触れる機会を増やすように努められたい。
- (58) 文学館事業について、新規観覧者を増やすとともに、新規観覧者に再来館していただけるようなプロモーションを検討されたい。
- (59) 国際版画美術館について、より効率的な運営に取り組むとともに、更に施設利用者数が増加するよう、更なる改善を図られたい。親和性の高い美術館等との連携や親子連れ、外国人向けのサービスを強化されたい。
- (60) 地域スポーツクラブのクラブ数、会員を増やすよう努力されたい。
- (61) 地域スポーツクラブの方々が長時間スポーツを楽しめるよう、照明設置等、施設の充実に努められたい。
- (62) 2018年度にスポーツ広場が2カ所廃止になった影響を受けた市民の受け入れ策を、引

き続き検討されたい。

- (63) スポーツ広場の管理運営に関しては、事故やトラブル等がないよう、適正な管理運営に努められたい。
- (64) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、まちだサポーターズの拡充と、町田市民の気運醸成の為の活動を進められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

総務費

- (65) 中規模会館の利用促進や子育て世帯の町内会・自治会への加入促進の観点から、町内会・自治会へ加入することで、安価で中規模会館が利用できることなどの利点を広く周知されたい。
- (66) 子育て世帯の町内会・自治会加入促進について、子育て世帯の加入者の少ない地域では、学校から児童生徒を通して保護者へチラシ配布することを検討されたい。
- (67) 子育て世帯の町内会・自治会加入促進について、母子手帳の交付の際にチラシを一緒に手渡すことを検討されたい。
- (68) 市民センターの和室など利用率の低い部屋等は、子育て世帯へ開放するなどされたい。

民生費

- (69) 民間保育所へのベビーセンサー導入補助について、導入目標数を定められたい。
- (70) しっかりサポート面接や、こんにちは赤ちゃん訪問の際に、父親向け子育てイベントについて説明してもらうなどの連携を取るよう努められたい。
- (71) 保育士不足を解消するために、育児中の保育士が時短勤務を希望しても正規職員で採用されるように、指導されたい。
- (72) 各学童保育にて、学習時間がどの程度確保されているか、学習の習慣づけについてどのように取り組んでいるかの実態の調査をされたい。
- (73) 学童保育の運営者に対し、新年度の入会者数の報告を少しでも早く実施できるよう、研究を続けられたい。

消防費

- (74) 消防団については、入団の理由や退団の理由をより丁寧に聞き取りし、団員増に生かされたい。特に退団理由については、消防団を通さずに、防災安全部が退団者に対して直接退団理由を尋ねる方法の導入について、検討されたい。
- (75) 災害対策用備蓄品において、液体ミルクを購入されたい。

教育費

- (76) 小中学校の災害共済給付の発生について、発生頻度の高い学校や、行事、授業などについては、改善の必要がないか調査されたい。
- (77) 小中学校の災害共済給付の利用について、保護者が災害共済給付の利用をせずにマル子医療証を利用することがないよう、学校関係者、保護者に対しての周知徹底に努められたい。また、市内の医療関係者への周知についても検討されたい。
- (78) 小中学校入学時の説明会は、多くの方が参加できるよう努められたい。
- (79) 中学校給食のランチボックスの購入の際には、生徒の給食への印象が少しでもよくなるような色合いやデザインを採用するよう、努められたい。
- (80) 中学校給食について、学校側で教室もしくは教室前まで配膳をすることで、喫食率や生徒の利便性向上にどのような影響があるか実験することを、検討されたい。
- (81) 中学校給食について、配膳における生徒の負担を減らす努力をされたい。
- (82) 教職員対象の中学校給食アンケートについては、100%に近い回収率を保たれたい。
- (83) 中学校給食は、弁当併用外注給食方式であることを周知し、利用促進に努められたい。
- (84) 町田市フォトサロンにおいて、高齢者を対象としたスマートフォンの撮影講座などの企画も検討されたい。
- (85) 町田市フォトサロンにおいて、インスタグラムの積極的活用を検討されたい。
- (86) 町田市フォトサロンにおいて、若年層の利用促進の観点から、インスタグラマーやユーザーなどによる展示や企画、講座の実現について研究されたい。
- (87) 拉致問題啓発事業を全市民対象に実施されたい。
- (88) 平和祈念事業については、日本の過去の戦争だけでなく、今現在戦争や戦争に近い状態である国の方のお話を聞く機会なども検討されたい。
- (89) まちチャレの講座企画者や受講者に対して、保育サービスの充実を検討されたい。
- (90) 図書館のホームページ改善の際には、グーグルのストリートビューなど、図書館内を実際に歩いているかのような体験がインターネット上でできるサービスの導入を、検討されたい。
- (91) 移動図書館の広報を積極的に行い、利用促進に努められたい。
- (92) 移動図書館の停車場所については、バス停のような、停車日時が記された目印の設置について、実現可能性を研究されたい。

令和元年（2019年）9月20日

文教社会常任委員長 木目田 英 男

議長 若 林 章 喜 様

文教社会常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

記

1. 請願第12号 並木町会の独立に関する請願

理由 話し合いの進捗を見守るため。

令和元年（2019年）9月20日

文教社会常任委員長 木目田 英 男

議長 若 林 章 喜 様

建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 74 号議案 町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 75 号議案 町田都市計画事業鶴川駅南土地区画整理事業施行に関する条例
1. 第 76 号議案 町田市立公園条例の一部を改正する条例
1. 第 77 号議案 町田市下水道事業の設置等に関する条例
1. 第 78 号議案 町田市下水道事業審議会条例
1. 第 81 号議案 野津田公園拡張区域整備工事（その 1）請負契約
1. 第 82 号議案 鶴間公園整備工事（その 2）請負契約の変更契約
1. 第 85 号議案 住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法
1. 第 86 号議案 町区域の新設及び変更
1. 第 87 号議案 市道路線の認定について
1. 第 88 号議案 市道路線の廃止について
1. 第 92 号議案 薬師池西公園・薬師池公園駐車場の指定管理者の指定について
1. 第 58 号議案 令和元年度（2019年度）町田市一般会計補正予算（第 2 号）
1. 第 60 号議案 令和元年度（2019年度）町田市下水道事業会計補正予算（第 1 号）

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成30年度（2018年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月9日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳出）

衛生費

（1）「町田市第4次環境配慮行動計画」で示した、温室効果ガス排出量の目標値6%減少に

向けて、更なる努力をされたい。

- (2) 環境・自然共生課のライトダウンキャンペーンは単発のイベント開催で終わらず、省エネ意識が継続しているかどうかも含め、費用に見合った効果が出ているか事業実施後に検証されたい。
- (3) 水素ステーションの誘致については、事業手法の情報収集や幅広い事業者呼びかけを行うなど、引き続き誘致への取り組みに努められたい。
- (4) 燃料電池自動車、電気自動車については、より一層の啓発、普及を図られたい。
- (5) アライグマ・ハクビシン防除事業に当たっては、市民の申込みに対してなお一層速やかに対応されたい。
- (6) 路上喫煙の巡回指導業務については、検討された委託化を実施され、低コストで効果的に環境美化を進められたい。
- (7) 指定喫煙所の設置については、民間事業者との連携も視野に入れ、更なる受動喫煙防止に努められたい。特に小田急町田駅西口前バスセンターペデストリアンデッキ下喫煙所については、閉鎖型に改良されたい。
- (8) 浄化槽の適正な維持管理指導については、訪問時に補助申請をしない理由についても把握できるよう努力されたい。
- (9) 全体目標の「ごみとして処理する量を40%削減」を今後も実現されたい。
- (10) 災害廃棄物の処理対策について、廃棄物の置き場の確保や分別処理など具体的な対策を推進されたい。また、災害廃棄物処理マニュアルの策定についても、早期策定に努められたい。
- (11) 指定収集袋の料金については、市民生活への影響を鑑み、値下げをはじめとした市民負担軽減策を検討されたい。また、市民活力の活用として、地域資源回収事業についても、更に浸透されるよう努力されたい。
- (12) トラブルや不法投棄につながるおそれがあるため、違法な回収業者を市民が利用しないようになお一層の対策を講じられたい。
- (13) 熱回収施設の整備事業については、引き続き、国庫補助金の確保に努め、交付対象外経費の縮減にも引き続き努められたい。
- (14) リレーセンターみなみにおいて、可燃ごみの中継施設、プラスチック資源化施設として安全に安定して稼働できるよう市の指導、監督の役割を果たすよう関与されたい。
- (15) 廃棄物収集や排出指導業務など災害時、緊急時、市民啓発など対応を迅速に行うために一定の常勤職員を確保されたい。
- (16) 集積所へ不法投棄されないように、集積所環境の維持・向上に努められたい。
- (17) 海洋プラスチック問題が取り沙汰される中、指定収集袋についても生分解性にするなど環境面に配慮した素材を使用することを検討されたい。
- (18) ふれあい収集のあり方について、民間事業者、地域福祉部との庁内連携を図るなど、より市民ニーズを捉えた体制の確保に努められたい。
- (19) 利用者が市内に点在し、効率的な収集が困難なため、今後のし尿収集及び運搬業務のあり方を検討されたい。

土木費

- (20) 道路部においては、職員が部の使命の達成に貢献し、業務の成果を適切に評価されていると感じられるように取り組まれない。
- (21) 災害時における道路対策部マニュアルを活用し、職員の意識を高め、他部との連携を強化されたい。
- (22) 雨水浸透設備設置助成事業について、雨水対策をより充実させるため、雨水貯留タンク等の検討も含めて市民に周知されるよう、努力されたい。
- (23) 南町田駅南北自由通路について、市の所有部分を明確にするとともに管理についても適正な費用負担に努められたい。
- (24) 減災、景観向上、安全向上等に資する無電柱化の計画策定にあたっては、非常事態も視野に入れ、緊急輸送道路や幹線道路について優先的に進めるとともに、なお一層、押し進められたい。
- (25) まちピカ町田くんの普及啓発については、災害対応における有効性も視野に入れ積極的に取り組まれたい。
- (26) 「市民通報アプリ・まちピカ町田くん」の普及啓発については、より一層認知度の向上を図られたい。
- (27) 道路をより良くする運動「みちピカ町田」の啓発にあつては、今後配布物を作成する際には「道路遊びの危険性の啓発」もあわせて行われたい。
- (28) 放置自転車対策においては、一定の成果は見られるものの、工夫の余地があることから、更に積極的に推進されたい。
- (29) 私道整備及び移管事業においては、申請済案件の実行に過度な遅滞が発生しないように予算の確保を行い、積極的に推進されたい。
- (30) 道路の維持管理を効果的に進めるため、道路調整会議における情報収集体制の一層の強化を図られたい。
- (31) アセットマネジメントにより道路補修する際、必要があれば歩道の改修もあわせて行うことを検討されたい。
- (32) 道路街路樹の植え替えにあたっては、倒木の予防の観点から積極的に進めるとともにその選定にあたっては、倒れにくさと合わせ、成長度合いなど、維持管理や道路の安全性という側面からも選定を検討されたい。
- (33) まちや道路の交通量の変化がある時に住民要望があれば街路樹の再整備を行われたい。
- (34) 気軽に利用できる公共トイレを目指すために、清潔な環境を保つとともに、修繕箇所の早期発見に努められたい。
- (35) 「消えないまちだ君」の他自治体への導入拡大を図り、町田市においても災害に備えた街路灯整備をされたい。
- (36) 自転車利用の環境整備を一層促進されたい。
- (37) 市街化調整区域の地区計画の運用指針の作成については、住民が住み続けるまちづくりを実現できるものとするよう国や都をはじめとした関係機関との調整を積極的に図られたい。
- (38) 南町田グランベリーパークのパークライフ・サイトの環境認証制度「LEED ND」

取得について、グリーンインフラの促進について、町田市の施策についても活用出来るように検証・提言されたい。

- (39) 都市づくり部においては、各種啓発活動は機運醸成を成果とせず、その先の目標に向けての具体的な行動を課題として記載されたい。
- (40) 鶴川駅北口広場整備事業及び南土地区画整理事業については、地権者、町内会及び商店会等関係者への情報提供、意見聴取を引き続き丁寧に継続されたい。
- (41) ワークショップ「お店の看板まち歩き」は、大変素晴らしい内容を行っていたが、当日の様子や実施後の経過が見えない。開催告知で終わらず、実施後の広報もホームページで発信するなどの工夫をされたい。
- (42) 景観啓発冊子「町田をくりぬく!!」の発行については、配布する場所やターゲットに効果的に届けられる方法など、市民に景観について知っていただける手法を検討されたい。
- (43) 住みたい・住み続けたい「まち」を目指すため、屋外広告物や景観の意識の普及啓発に取り組まれたい。
- (44) 公共施設巡回ルートについては、利用者のニーズを把握し、通行経路や時刻等の見直しをされたい。
- (45) 地域コミュニティバス運行事業について、より積極的に行政から働きかけ、交通不便地域の解消に努められたい。また、その実施方法について、ワゴンタクシーやデマンド交通などあらゆる可能性を検討し活用されたい。
- (46) 小型乗合交通導入実証実験運行においては、今後も住民ニーズの変化や費用対効果を意識し、事業を実施する時期・優先順位を見極められたい。
- (47) 小山田桜台・多摩南部地域病院間（唐木田）運行事業については、利用者数を一層拡大することも視野に入れ、土日も運行し、定期券、シルバーパスの利用も可とし、多摩センター駅への停車など、停留所の地元要望の対応など、路線充実を図るよう積極的に取り組まれたい。
- (48) 折角導入したスマートフォンアプリ PARKFUL の情報量充実を図るため、庁内職員に対して活用だけでなく、近隣を業務で通る際などに写真などの公園情報の登録についても協力を依頼し、なお一層の活用を図られたい。
- (49) 公園駐車場有料化事業については、現状の平日料金無料の維持等、市民負担を抑え、常に公園利用者の立場に立った料金及び事業形態にするよう努められたい。
- (50) 薬師池公園四季彩の杜の利用状況をみると、2015 年度に減少し、それがなかなか復調していないので、利用者のより一層の増加に向けて努力されたい。
- (51) ふるさとの森、特別緑地保全については、積極的な拡大、維持管理を行われたい。
- (52) 芹ヶ谷公園の第 2 期整備に向けて（仮称）国際工芸美術館については、このエリアに「にぎわいを創出できるか」どうか、町内会自治会会長だけではなく市民意識調査などを活用し、広く市民に意見を聞かれたい。
- (53) 町田市立陸上競技場の大型映像装置の活用について、より活用実績が増えるようにあらゆる分野における活用方法を模索し、町田市立陸上競技場の PR を含め努力されたい。

- (54) 野津田公園にあつては、するスポーツ利用者の見地からも駐車場拡大整備はもとより、普段からのバス便増便など利便性の向上を図られたい。
- (55) 小野路球場の利用者が過去最大になっている。ネーミングライツや企業広告の導入を検討されたい。
- (56) 小野路公園については、駐車場拡大整備、バス便増便などを図り、利用者、観客の利便性向上を図られたい。特に高校野球予選時の対策は早急にされたい。
- (57) 市営住宅使用料の未収金について、早期に滞納者への納付折衝をされたい。
- (58) 分譲マンション耐震化事業は、いつ首都圏直下型地震が起こるかわからないため、スピード感をもって取り組まれたい。
- (59) 空家対策について、所有者への適切な管理の啓発などの対策・改善を行うとともに、特定空家の指定など抜本的な対策を出来る仕組み作りを研究されたい。また、空家の利活用についてもより実績件数を増やせるよう、努力されたい。
- (60) 空家所有者に対し空家の適切な管理の啓発のために 1,641 通のダイレクトメールを送っているが、同じ啓発内容の「空家セミナー」のリーフレットは同封せずホームページや広報での告知であった。より効果的な広報をされたい。
- (61) 住宅バリアフリー化改修助成金は、需要に供給が追いついていない。十分な予算の確保と、利用の簡便性を高めるため、提出書類の簡素化を図られたい。
- (62) 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化のペースが鈍化しているため、所有者への働きかけなどに一層取り組まれたい。

2 特別会計

下水道事業会計

- (63) 効率的で健全な下水道事業経営を実現させるため、なお一層、事業の選択や集中に努められたい。
- (64) 下水処理施設においては、未利用エネルギーの活用など環境負荷の少ない処理場運営を進め、効率性やコスト制限も一層図られたい。
- (65) 下水道管のつまりを発生させないように、ラードつまり点検箇所の適正利用率を上げるため、更に訪問・指導を進められたい。
- (66) 豪雨対策とともに景観にも配慮した水路の保全・管理に努められたい。また、そのための適正な人員配置を行われたい。
- (67) 近年多発する局地的集中豪雨等に対して、雨水幹線や枝線の整備を一層進めるとともに、河川整備を更に促進し、総合的な治水対策をできるだけ前倒しで行われたい。
- (68) 汚水と雨水のカラーマンホールをより一層効果的に設置するとともに、マンホールカードの配布に当たっては、品切れとならないように努められたい。
- (69) 市街化調整区域の污水管整備・合併処理浄化槽切り替え促進事業については、未整備地区の住民に事情の理解を丁寧求めつつ、関係機関と連携し、更に事業の促進をされたい。
- (70) 市街化区域の污水管整備事業については、未整備地区の住民に事情の理解を丁寧求

めつつ、関係機関と連携し、更に事業の促進をされたい。

- (71) マンホールトイレについては、近年頻発する災害に備えて、より一層効率的に設置されたい。
- (72) 未利用エネルギーの活用や電気料の縮減、高度技術導入など、社会状況の変化に対応した下水処理事業が行われるよう先進事例の視察を始めとした情報収集、調査研究に積極的に努められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

土木費

- (73) 多摩都市モノレールについて、早期延伸実現に向けて努められたい。また、延伸実現にあたり、中心市街地についても民間活力を最大限に活用し再整備に努められたい。
- (74) J R 町田駅南地区のまちづくりにおいて、それを遅滞なく進めるため、関係機関との協議をスピード感をもって進められたい。
- (75) 小野路球場は全国高校野球選手権大会の予選等で1、2回戦までしか使えない。シート校の試合が可能になるには3,000席が必要である。観客席の増設を検討されたい。
- (76) 団地再生については、多摩都市モノレール町田方面延伸を見据え、環境負荷の低減や資源循環など持続可能な付加価値の高いまちづくりの視点も盛り込み検討されたい。

令和元年（2019年）9月20日

建設常任委員長 おぜき 重太郎

議長 若 林 章 喜 様

建設常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 8 号 まちっこ保育園前の登降園路に安全対策を求める請願

請願者 町田市南大谷 1308-15

近 間 洋 介 外1,050人

本委員会は、6月18日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 請願第 10 号 野津田公園バラ広場の現在地での存続・拡充を求める請願

請願者 町田市野津田町 1940-18

中 島 貴美子 外3,006人

本委員会は、6月18日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 請願第 13 号 野津田公園ばら広場の移転計画の再検討を求める請願

請願者 町田市大蔵町 3115-16

西 尾 譲 司 外2,350人

本委員会は、9月9日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

令和元年（2019年）9月20日

建設常任委員長 おぜき 重太郎

議長 若 林 章 喜 様